道場から宝塚まで 武庫川縦走シリーズ 4－1

第 101 回武庫川エコハイク

道場・生瀬・宝塚地区

150912 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km^2、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22（2010）年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

武庫川渓谷 神戸市北区道場地区から西宮市生瀬地区まで全長１４km の武庫川渓谷は約 100 万年前ごろの六甲山隆起により穿谷された渓谷である。

JR 道場駅 阪鶴鉄道が三田まで開通した明治 32 年(1899)に開設された。大正 3（1914）年千苅水源地の工事に利用された。千苅水源池、鎌倉峡、百丈岩ハイキングの玄関口。

神戸市千苅浄水場 神戸市北区の開発による人口増加に対応して千苅水源地を水源として昭和 42（1967）年創設された北神水道の浄水場。

羽束川（はつかがわ） 武庫川最大の支流で、源流は大阪府能勢町天王の深山（みやま、標高 791m）。途中篠山市後川（しつかわ）、三田市高平を経て宝塚市波豆で波豆川を合流して千苅水源地に注ぐ。流域面積 95 千㎢（武庫川流域の約 19%）、長さ約 32km、高低差約 360m。武庫川本川よりも勾配が大きい。

神戸市千苅水源地 明治の初め、神戸市でコレラが毎年のように流行し、これの対策のため水道の必要性が増大し、明治 30（1887）年から水道工事が開始され、30 年代に布引貯水池、奥平野浄水場、烏原貯水池が完成し、大正 8（1919）年千苅貯水池が完成した。

新名神高速道路 中国自動車道、山陽自動車道の神戸ジャンクション（JCT）から名神高速道路高槻 JCT までの工事が進んでいる。武庫川では武庫川上流浄化センターの北側を通過。

新名神武庫川橋 工事中の新名神高速道路の武庫川を渡る橋。橋長 442.2m、高さ 81m、橋脚直径 5.5m。橋梁上部工に世界で2番目の事例となるバタフライウェブエクストラドーズド箱桁橋を採用しています。

兵庫県武庫川上流浄化センター 北摂地域（神戸市北区東部、西宮市北部、三田市）の人口増に対処するため、広域下水道武庫川上流浄化センターが昭和 54（1979）年に着工され、昭和 60（1985）年に完成した。スラッジは送泥管で武庫川河口の県スラッジセンターへ送られている。右岸側の増設予定地に武庫川の治水のため遊水地が設置されることになっている。

川下川 宝塚市布見ヶ岳付近に水源を持ち、中流に川下川貯水池がある。

川下川貯水池 宝塚市の上水道専用貯水池。昭和 47（1972）年着工。同 52 年完工。

県道玉瀬道場線 武庫川に沿って走る県道玉瀬道場線は平成 16（2004）年 23 号台風の洪水で約 3m 冠水した。川下川から武田尾上流の間が岩場があり未開通。

武田尾温泉 17 世紀に武田尾直蔵が発見したという。硫化水素を含む単純泉。4 件の宿、西宮市側に 3 軒（マルキ旅館・河鹿荘・元湯）、宝塚市側に 1 軒（紅葉館）があり無料の足湯がある。

草山トンネル 武田尾温泉を過ぎると草山トンネルの一部を抜ける県道を経て JR 武田尾駅へ。

「武田尾渓谷」説明書参照

西宮市水管橋 対岸の青葉台への水管橋。前記洪水で流失したが嵩上げして復旧された。

太多田川（おただがわ） 船坂に源流を持ち、中流に蓬莱峡がある。有馬街道と並行する。

生瀬 江戸時代有馬街道、篠山街道の宿場町。阪神淡路大地震で古い建物は崩壊。

浄橋寺 浄橋寺は鎌倉時代嘉禎 4 年(1238)善慧坊証空上人により創建された。浄土宗西山派の寺院、山号は十方山。本尊の阿弥陀三尊は国の重要文化財。

生瀬橋 江戸時代は武庫川下流に架かる唯一の橋。浄橋寺創建伝承によれば、証空上人が有馬温泉に向かう途中賊に会われ、上人は賊を諭されて急流で橋のない武庫川に橋を架け、利用する旅人から通行料を取って生計を立てるように言われた。賊たちは改心し、ここに橋を架けた。上人はこの橋を「浄橋」と名づけられたと言う。

ウィルキンソンタンサン工場跡 生瀬橋の武庫川右岸側にウィルキンソンタンサン工場があった。明治 38 年(1905)英国人 J.C。ウィルキンソン氏が創立し、この地の炭酸泉を瓶詰めして販売。
平成 7(1995)年工場閉鎖されアサヒビールが生産している。

惣川 生瀬橋下流左岸に惣川が合流する。すみれガ丘に宝塚市惣川浄水場がある。

西宮市水管橋と宝塚市生瀬浄水場 水管橋は西宮市生瀬東町まで送水、宝塚市生瀬浄水場は地下水を使用している。この地区は古くから生瀬橋があり生瀬の地域であった。

観音谷川 見返り岩上流右岸に塩尾寺近くを源流とする観音寺川が合流する。

見返り岩、丁字ヶ滝 武庫川右岸側にある巨岩、県道を隔てて西側に丁字ヶ滝がある。
丁字ヶ滝は丁字ヶ滝川の下流に当る。

愛の松原 見返り岩対岸にかって「愛の松原」という松原があったが今はマンション群になっている。

塩谷川 宝来橋上流右岸で塩谷川が合流する。

武庫川改修 武庫川の両岸に堤防ができたのは大正 9 年から昭和 3 年の改修工事による。

観光ダム 武庫川に水を貯め、観光客に潤いとやすらぎを提供するために、昭和 39 年(1964)完成、現在のものは平成 11 年（1999）に完成したもの。

川面井堰 武庫川左岸地区への農業用水取水堰。かって宝来橋すぐ上流にあったが、平成 11 年(1999)新観光ダム建設時に撤去され、ダム湖からの取水となっている。

宝来橋 明治 35 （1902） 年ごろ、初代宝来橋が架かる。その後何度かの洪水で流失、昭和 30 年(1955)の宝来橋で初めて車の通行が可能となった。現在のＳ字橋は平成 6 年(1994)完成、フランスの彫刻家マルタ・パン女史のデザインによる。橋の左岸側にパン氏の彫刻がある。

JR 宝塚駅・阪急宝塚駅 JR 宝塚駅は明治 30（1897）年阪鶴鉄道開通時に開設、阪急宝塚駅は明治 43（1910）年箕面有馬電気軌道（現阪急電鉄）の駅として開設された。